

夏季教養講座開催



小西美穂氏

令和5年8月25日ホテルブリムローズ大阪にて、近畿管内の警察幹部83名を対象に「令和5年度夏季教養講座」を開催した。開講式にて、共催の奥野省吾近畿管区警察局長の挨拶の後、2名の講師による講演が行われ、受講者は熱心に聴講した。閉講式にて当会の小嶋淳司理事長が挨拶を述べた。



人法団財公益
会友の官警近

小西美穂氏

関西学院大学特別客員教授

「メディアとジェンダー」

自己紹介と、記者時代の警察との関わりや、大学の講義に取り入れている、学生に集中して講義を聞いてもらう工夫を説明し本題に入られた。

「ジェンダー」とは、「社会的・文化的につくられた男らしさ、女らしさ」のことであり、慣習の中のあるものなので、その問題は見ようとすると視点なくしては話された。

小西氏が、数少なかった女性記者としての経験から、配慮だけで仕事を割り振るのではなく、まずは本人に意向を確認してほしい。また性別による経験や、着眼点の相違が、成果をもたらすこともあると話された。

● 本号の目

- 「夏季教養講座」開催 1・2頁
- 理事会・評議員会報告 2頁
- 令和4年度事業報告・決算 3頁
- 令和5年度事業計画・予算 4頁
- 役員・副支部長一覧他 5・6頁

次に、ジェンダーギャップ指

数における世界での日本の位置付けは146か国中125位となっており、特に政治と経済分野で格差が大きく、ジェンダー先進国は男女比率50%を達成しつつあるが、日本は30%を目指す状態にある。フランスの選挙制度、イギリスBBCの取り組みを紹介し、統計・制度・意識のトライアングルでジェンダーバイアスを解消することで、成果も出ていると話された。

カナダのトルドー首相の男女同数の内閣を例に、リーダーの意思決定もジェンダーギャップを解消するため重要であること、多様な立場の人の視点で語りあう事の大切さを述べ、最後に感謝の言葉と、多くの人が成長の機会を得られることを希望して講演を終えられた。

昨今は凶悪な犯罪が相次ぎ、悲惨なテロも他人事ではなくなりました。私たち市民は、「安全で安心して暮らせる社会」を望んでいます。公益財団法人近畿警察官友の会はそうした社会の実現のため、日夜業務に従事している近畿各地の警察官を支援しています。



河野克俊氏

河野克俊氏

第五代統合幕僚長

「今後の日本の安全保障とリーダーシップ」

冒頭、自衛隊の変遷と統合幕僚長の役割について話された。続いて安倍総理が、硫黄島を訪問の際、今もその下に遺骨が埋もれている滑走路に跪かれる写真を紹介され、総理は国家観、歴史観を持った政治家であり、その根底に組織のため犠牲になった方への哀悼の念を持った方であったと評価された。

次にリーダーは危機的な時にはリスクを負ってでも決断することが必要であり、目標の明示、

確固たる意志、責任を取る覚悟が必要だと述べられた。

ロシアのウクライナ侵攻は、ウクライナは元来ロシアと同根の国であるというプーチンの国家観に基づいたものであり、ウクライナをNATOに加盟させないための戦いである。故に、ウクライナが一部領土を放棄して停戦を提案しても、その後NATOに加盟するとうシナリオが考えられロシアは受け入れるはずはない。一方ウクライナの反攻は、西側の軍事支援に頼っているため決定打が打てず、やはり自前の装備が重要であると感じたと述べられた。

ウクライナ戦争が日本の安全保障に与えた影響について、①核不拡散体制の前提が崩れ、北朝鮮の核放棄の可能性が限りなく薄くなったこと②核戦争を恐れて軍事介入しない米国の姿勢により、米国の核の傘に頼っている日本にとってその信頼感が薄れたこと、それを埋める議論を政治が提起しなければならぬと述べられた。

中国問題について、中国が元来の大陸国家から海洋強国を

目指すようになった経緯と、経済大国となった中国は、歴史の流れで米国と対決せざるを得なくなったと話された。米中対立における、3つの列島線による中国の海洋戦略から米中決戦の際の最前線は日本の南西諸島となること、その前に中国が片づけなければならぬ問題は、香港、台湾、尖閣である

と述べられた。香港は陥落、台湾は来年の総統選の結果次第で、政治的併合か軍事的手段か習近平は見切りをつけると思う。大統領選でトランプが当選した場合、台湾への軍事介入は見送る可能性があり、習近平は動きやすくなる。

台湾有事が、日本有事かといえば、最終的な米中決戦は、台湾・尖閣の解決後と中国は考えており、米国が手出しにくい内部攪乱や短期決戦での傀儡政権樹立などで台湾を抑える手法を選択し、尖閣への手出しもこの段階ではないであろうと予測され講演を終えられた。

理事会・評議員会報告

第38回理事会（決議の省略）

小嶋理事長が決議の省略により次の議案を提案し、12月12日に理事会の決議があったものとみなされた。

◇第1号議案

「支部運営委員の選任」の件

第39回理事会

開催日 令和5年3月13日

場所 KKRホテル大阪

出席理事12名が次の議案等を審議し、原案どおり承認された。

◇第1号議案

「令和5年度事業計画書及び収支予算書等の承認」の件

◇報告事項

職務執行状況の報告について「夏季教養講座」について

当会の現況報告について

第40回理事会

開催日 令和5年6月6日

場所 KKRホテル大阪

出席理事8名が次の議案等を審議し、原案どおり承認された。

◇第1号議案

「令和4年度事業報告及び附属明細書の承認」の件

◇第2号議案

「令和4年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録等の承認」の件

◇第3号議案

「令和5年度収支補正予算書の承認」の件

◇第4号議案

「業務執行理事（副理事長）の選定」の件

◇第5号議案

「第16回定時評議員会招集決定」の件

◇報告事項

職務執行状況の報告について「夏季教養講座」について

当会の現況報告について

第16回評議員会

開催日 令和5年6月22日

場所 ホテルプリムローズ大阪

出席評議員10名が次の議案等を審議し、原案どおり承認された。

◇第1号議案

「令和4年度事業報告及び附属明細書の承認」の件

◇第2号議案

「令和4年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録等の承認」の件

◇第3号議案

「理事の選任」の件

◇報告事項

第37回理事会（決議の省略）、第38回理事会（決議の省略）、第39回理事会、第40回理事会の決議内容について

「夏季教養講座」について

当会の現況報告について

令和4年度 事業報告及び決算について



理事会の様様

- 事業の概要**
- 1 当会最大の催し「近畿優良警察職員に感謝の会」を開催した。
 - 2 各府県支部活動は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を取りつつ実施した。
 - 3 会報「けいさつの友」を2回発行した。
 - 4 「夏季教養講座」は、感染対策を徹底し、3年ぶりに開催した。
 - 5 近畿管区警察局主催の術科大会が3年ぶりに開催され、メダルと楯を寄贈した。

会員数の推移

	令和4年3月31日	令和5年3月31日	比較
個人会員	500名	478名	-22名
法人会員	190社	185社	-5社
地区会員	78地区	77地区	-1地区

☆正味財産の増減について(令和4年4月1日～令和5年3月31日 単位円)

科 目	当年度	前年度実績	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	803	537	266
② 特定資産運用益	8	8	0
③ 受取会費	30,105,500	31,660,000	△ 1,554,500
④ 受取寄付金	2,730,000	1,745,000	985,000
⑤ 雑収益	140,301	119,699	20,602
経常収益計	32,976,612	33,525,244	△ 548,632
(2) 経常費用			
① 事業費	21,941,683	20,670,922	1,270,761
② 管理費	10,265,494	10,308,970	△ 43,476
経常費用計	32,207,177	30,979,892	1,227,285
当期経常増減額	769,435	2,545,352	△ 1,775,917
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	769,435	2,545,352	△ 1,775,917
一般正味財産期首残高	47,946,358	45,401,006	2,545,352
一般正味財産期末残高	48,715,793	47,946,358	769,435
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
III 正味財産期末残高	48,715,793	47,946,358	769,435

令和5年度 事業計画及び収支予算について

☆令和5年度の事業計画概要

- 1 表彰事業
 - (1) 近畿優良警察職員に感謝の会
10月18日 KKRホテル大阪にて開催。
 - (2) 各府県支部表彰
 - (3) 外部表彰
 - 近畿管区内優秀警察職員表彰式
(近畿管区警察局長主催)
 - 「近畿の警察官」表彰のつどい
(産経新聞社提唱)
- 2 講座事業
 - (1) 夏季教養講座
8月25日ホテルプリムローズ大阪にて
関西学院大学特別客員教授 小西美穂氏、
第5代統合幕僚長 河野克俊氏を講師に
招いて開催。
- 3 助成事業
 - (1) 警察活動に必要な資材・機材の提供
 - (2) 警察行事支援
- 4 普及啓発活動
 - (1) 会報の発行
 - (2) ホームページで本部・支部・地区友の会の
活動報告
 - (3) 協力団体（地区友の会）の設立を後援

☆令和5年度収支予算について(令和5年4月1日～令和6年3月31日 単位円)

科 目	当年度	前年度実績	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	530	803	△ 273
② 特定資産運用益	0	8	△ 8
③ 受取会費	29,500,000	30,105,500	△ 605,500
④ 受取寄付金	2,100,000	2,730,000	△ 630,000
⑤ 雑収益	75,000	140,301	△ 65,301
経常収益計	31,675,530	32,976,612	△ 1,301,082
(2) 経常費用			
① 事業費	24,152,688	21,941,683	2,211,005
② 管理費	9,290,140	10,265,494	△ 975,354
経常費用計	33,442,828	32,207,177	1,235,651
当期経常増減額	△ 1,767,298	769,435	△ 2,536,733
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,767,298	769,435	△ 2,536,733
一般正味財産期首残高	48,715,793	47,946,358	769,435
一般正味財産期末残高	46,948,495	48,715,793	△ 1,767,298
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
III 正味財産期末残高	46,948,495	48,715,793	△ 1,767,298

公益財団法人近畿警察官友の会 役員等一覧

(敬称略)

理事

理事長・代表理事	小嶋 淳 司	がんこフードサービス (株) 社主	
副 理 事 長	中 川 喜 博	(株) 阪急阪神ホテルズ 代表取締役会長	新任
滋 賀 県 支 部 長	土 沢 健 一	(株) ナツハラ 取締役会長	
大 阪 府 支 部 長	延 原 健 二	延原倉庫 (株) 代表取締役社長	
兵 庫 県 支 部 長	桑 田 純 一 郎	但陽信用金庫 理事長	
奈 良 県 支 部 長	森 本 俊 一	三和澱粉工業 (株) 代表取締役会長	
和 歌 山 県 支 部 長	成 川 守 彦	(医) 千徳会 会長	
理 事	江 浦 保	(株) 江浦製作所 会長	
理 事	渡 部 隆 夫	(株) 寿光 代表取締役会長兼社長	
理 事	藤 尾 政 弘	(株) フジオフードグループ本社 代表取締役社長	
理 事	中 村 剛	大阪ガス (株) 顧問	新任
専 務 理 事	日 下 勝 之	当財団 事務局長	

江浦保氏に代わり中川喜博理事が副理事長に選定されました。久徳博文氏は辞任されました。

監事

北 岡 慎 吾	北岡公認会計士事務所 所長
上 将 倫	弁護士法人松尾・中村・上法律事務所 代表社員

評議員

岩 田 守 弘	びわ湖放送 (株) 監査役
草 野 丈 治	(株) 草野組 会長
迫 田 謙 典	ロイヤル第一交通 (株) 代表取締役
中 川 廣 司	(株) 高速産業 代表取締役
内 田 順 之	
松 本 壽 満	(株) マツモト 代表取締役会長
竹 位 賢 二	(株) フジヤ號 取締役会長
齋 藤 昭	
小 山 新 造	小山 (株) 代表取締役会長
中 井 隆 男	大和ガス (株) 相談役
畑 野 富 雄	畑野産業 (株) 取締役顧問
坂 本 漸	

相談役

津 田 和 明	サントリー (株) (現 サントリーホールディングス) 元副社長
---------	-----------------------------------

顧問

松 崎 高	(医) 同仁会 松崎病院 相談役
-------	--------------------

副支部長

(敬称略)

兵庫県支部	広瀬 努	広瀬化学薬品(株) 取締役会長	
奈良県支部	有井 邦夫	三和建设(株) 相談役	
	卜部 能尚	ウラベ木材工業 代表	
和歌山県支部	堤 昌男	中野歯科医院 院長	
	山名 正一	山名労務行政管理事務所 所長	

昭和37年生まれ
大阪府在住



☆新理事紹介
中村 剛 理事

昭和28年生まれ
大阪府在住



☆新副理事長紹介
中川 喜博 副理事長

10月以降の行事予定

開催日	行事名	場所
10月18日(水)	近畿優良警察職員に感謝の会	KKRホテル大阪
10月31日(火)	和歌山県優良警察官表彰式	ホテルアバローム紀の国
11月10日(金)	第46回奈良県警察優良警察官表彰式	ホテルリガレ春日野
2月 1日(木)	大阪府警察優良警察官・民間警察協力功労者表彰式	ホテルプリムローズ大阪

昨日18年ぶりに、阪神タイガースが、リーグ優勝を果たした。今年は本当に安定した戦いであったと思う。ずば抜けたスーパースターはなかったが、チームの総合力の勝利だと感じた。その話題を理事長として、理事長から、「本当のチームワークとは、誰かに助けられてではなく、自分が周りをカバーするのだ」という意識をもったメンバーが集まった時に生まれるもので、リーダーは、そういったメンバーを育成するのが大切だ」と話され、確かに今年のタイガースはそういったチームになっていたと思う。スーパースターの活躍も見ていてワクワクするが、チームワークの勝利はいいものだと思つた。オリックスの優勝も間近である。警察の負担をあまりかけない範囲で関西の秋が盛り上がることを願っています。

9月15日
日下

発行所 公益財団法人近畿警察官友の会
〒540-0011
大阪市中央区谷町三丁目一番九号
MG大手前ビル二階
電話 〇六一六九四一七六三八
FAX 〇六一六九四一七六四一
編集兼発行人 日下 勝之
印刷所 株新聞印刷

「公益財団法人近畿警察官友の会」の詳細な決算及び活動については、当財団のHPをぜひご覧ください。会報もご覧いただけます。
<https://www.kk-tomo.com/>